

消化管内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

| | |
|---------------------------|--|
| 研究課題名 | Jackhammer esophagus の本邦での全国実態調査 |
| 研究機関名 | 愛知医科大学病院 |
| 研究機関の長 | 病院長 藤原祥裕 |
| 担当科等 | 消化管内科 |
| 研究責任者 | (職名) 准教授 (氏名) 舟木 康 |
| 試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名 | 日本医科大学付属病院 研究責任者：消化器・肝臓内科主任教授 岩切勝彦 |
| 研究の意義・目的 | Jackhammer esophagus (ジャックハンマー食道) はつかえ感や胸痛などの原因となる食道運動障害の一つでとても稀な疾患です。食道に非常に強い収縮を引き起こしますが、この病気の経過、治療方法について確立したものがありません。このような稀少な症例はひとつの病院での経験では病態や、治療方法の確立が難しく、全国的な調査が必要です。そこで日本食道学会では Jackhammer esophagus (ジャックハンマー食道) の臨床的特徴、病態生理、治療戦略を明らかにするための全国調査を実施いたします。愛知医科大学消化管内科もこの全国調査に参加いたします。 |
| 対象となる患者さん | 2008年1月1日から2017年6月30日までに消化管内科にて Jackhammer esophagus (ジャックハンマー食道) と診断された患者さん |
| 研究の方法 | 試料：なし、情報：年齢、性別、血液所見、内視鏡所見、バリウム造影所見、治療内容、治療効果、等これらの情報は、研究代表施設である日本医科大学付属病院で集積されます。これらの情報は、個人情報を取り除いた状態で、解析・検討を行います。 |
| 研究期間 | 倫理審査承認日 ~ 2020年12月31日 |
| 研究に用いる試料・情報 | 情報：年齢、性別、血液所見、内視鏡所見、バリウム造影所見、治療内容、治療効果 等 |
| 外部への試料・情報の提供 | 調査票および症例報告書を作成し、記入後郵送します。郵送履歴は配達記録郵便で残します。 |
| 試料・情報の利用又は提供を希望しない場合 | 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。 |

| | |
|--------|---|
| 問い合わせ先 | 愛知医科大学 医学部内科学講座 消化管内科 担当者：准教授 舟木 康 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23480) |
|--------|---|